

雪崩災害から身を守るには



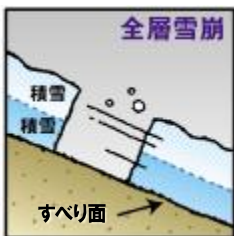
今年、県内各地で大雪となり、雪に関する事故での被害も発生しております。
 今後は、気温の上昇等により雪崩の危険性も高まってくることから、雪崩の前兆現象を見つけた場合、**斜面等には決して近づかないでください。**
 前兆現象を発見した方は、直ちにお住まいの**市町村**や**下記の県担当**までご連絡ください。

雪崩ってどんな現象？ どんな時に起こりやすいの？

雪崩とは、「いったん斜面上に積もった雪が、重力の作用により、肉眼で識別し得るほどの速さで滑り落ちる現象です。」



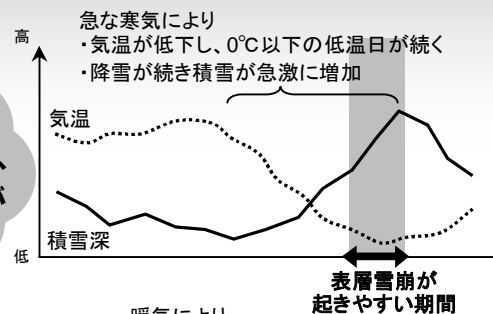
表層雪崩はすべり面が積雪内部にあるため滑りやすく、時速100～200km(新幹線並み)の速さで滑り落ちます。
 滑り落ちる速さが速いため、より遠くまで流下し、雪崩の被害が広範囲に及ぶ場合があります。
 前兆現象の発見が難しく、予知が難しいという特徴があります。



全層雪崩はすべり面が地面で、時速40～80kmの速さで滑り落ちます。
 斜面の勾配が35～45度で樹木がなく、地肌が露出している場所で発生しやすいと言われています。
 笹や草に覆われた斜面は滑りやすいため、さらに危険です。

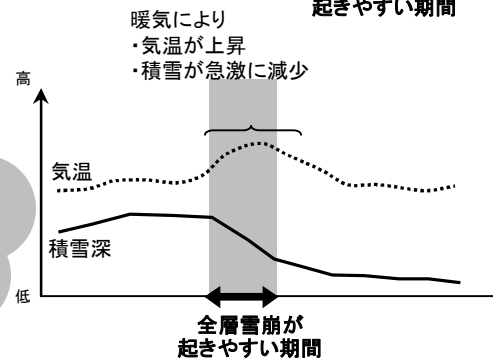
○表層雪崩

気温が低く、既に積もった雪の上に、新たに多量の雪が積もったとき



●全層雪崩

降雪や降雨の後、天気が良く気温が上昇したとき

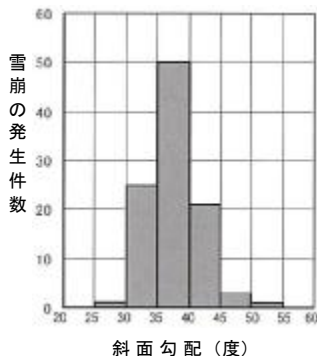


どういう場所で起こりやすいの？

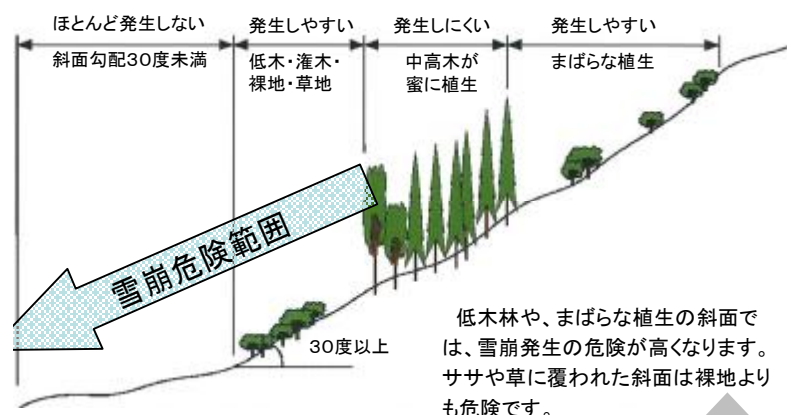
雪崩が発生しやすい斜面勾配

斜面勾配30度以上：
 雪崩が発生しやすくなります。

斜面勾配35～45度：
 雪崩発生事例が多く最も危険です。

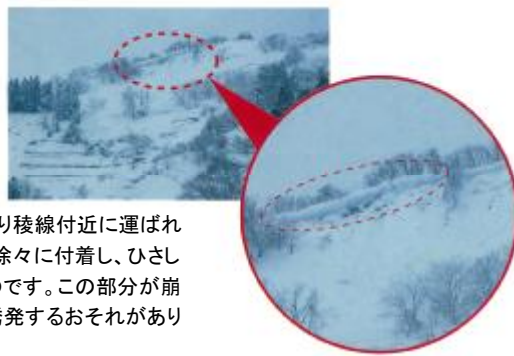


雪崩が発生しやすい斜面の植生の状態

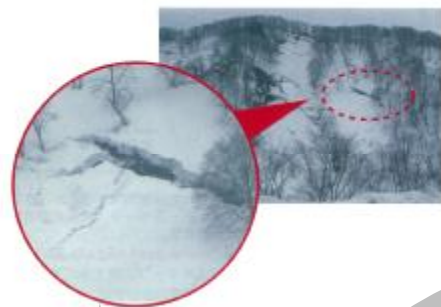


前兆現象を見逃さない！

・雪庇(せっぴ)



・クラック(雪割れ)



一度雪崩が発生した箇所では、その後の積雪により同じ経路で雪崩が再度発生する危険性が高いので注意しましょう。

◇前兆現象を見つけたらご連絡ください◇

山形県 県土整備部 砂防・災害対策課 砂防担当
 電話：023-630-2635